



一人権だより



vol.41

【人権講演会の報告】

7月6日(日)の10時より、桂川町住民センターにおいて、市民講座「人権講演会」を開催しました。今年、フジテレビアナウンサーの笠井信輔^{かさいしんすけ}さんを講師に迎え、「人として、報道人として、震災報道の裏側と人権」という演題で講演を行っていただき、約270人が参加しました。

講演の中で笠井さんは、阪神淡路大震災や東日本大震災の現場に実際に足を運んで見た、震災の生々しい現実を交えながら、「人と報道人」という2つの立場に揺れ動く葛藤を赤裸々に語りました。

また、「大人が差別するから、子どもが差別する。それをなくしていくには、強い意志と正しい理解が必要」と述べ、人権学習の重要性を訴えました。

○参加者の声(アンケートより)

「報道人も、人権に配慮していると感心した」

「自然のこわさ、命の大切さを改めて強く感じた」

「相手の気持ちになって、発言・行動することの大切さを改めて感じた」



▲「自殺」の報道のあり方など、メディアと人権の関わりについても語られました。
▼権啓発パネル展も同時開催され、人権問題に関する統計情報などが展示されました。

【問合せ】

桂川町人権センター(旧桂川町隣保館)内
隣保・人権同和教育係 ☎65・1187

TOPIC ①

第37回 桂川町社会を明るくする運動大会

7月16日(水)、総合福祉センター「ひまわりの里」で、第37回桂川町社会を明るくする運動大会が開催されました。

各地域で保護司として活躍している方々の紹介のほか、家族がお互いに向き合う大切さを描いた映画「オヤジのひとこと」の上映が行われました。

また、瓜生郁義^{うりゅういくよし}教育長による講演も行われ、現代の子どもに不足していると言われている自尊感情や規範意識などを、家庭や地域での体験を通して学ばせてあげてほしいと訴えました。



▲講演を行う瓜生教育長。

TOPIC ②

人権街頭啓発活動

7月1日(火)、7月の桂川町人権・同和问题啓発強調月間に合わせて、街頭啓発(桂川町人権・同和问题協議会主催)を行いました。

桂川町役場付近をはじめ、町内5カ所で、信号で止まっている車や、歩いている方などに声をかけ、啓発用うちわや人権講演会のチラシなど配布しました。



▲一人ひとりに声をかけチラシを配る井上町長(左)と西園桂川東小学校校長(右)。